



2013年4月1日 第807号



発行 関西学院大学新聞編集部
〒662-0891 西宮市上ヶ原1番町1-155
関西学院大学新学生会館3F
電話：(0798) 51-1181
E-mail: kgpress2009@yahoo.co.jp

2013年度入学式

新入生に祝辞

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。新入生の皆さんを応援するメッセージが関西学院を代表する人物3人から送られています。

関西学院院長

ルス・M・グールド

ご入学おめでとうございます。これから皆さんの新しい冒険が始まります。関西学院大学は魅力的な正課授業や課外活動が揃っている他、「世界市民」として世界で伝道活動を行った創立者ウォルター・R・ラ



ンバスのような、地球規模の意識を育むプログラム等も充実しています。建学の精神であるキリスト教主義的教育にも力を入れているので、皆さんは、授業、チャペル・アワー、様々な行事などを通して、関学ならではの時間を過ごされることでしょう。また、2014年9月に関西学院は創立

関西学院大学学長

井上 琢智

新入生の皆さん、関西学院(Kwansei Gakuin)大学への入学おめでとうございます。心から歓迎申し上げます。

1889(明治22)年、アメリカの南メソヂスト監督協会の宣教師で初代院長となったW.R.ランバス先生によって建てられた関西学院は、

123年にわたる「キリスト教主義(Principles of Christianity)」を建学の精神とし、「Mastery for Service」をスクー

大学図書館長

奥野 卓司

ご入学おめでとうございます。皆さんは、入試のため勉強から解放され、これからは関西学院大学で自由に関心の関心のあることを学びたいと思っておられるでしょう。けれど、一方でまだ自分が大学でやりたいこと、学びたいことが見つかっていないという方もおられると思います。

この全人教育は、神が学生一人ひとりに与えた賜物としての「才能」「個性」を引き出すことであり、それを活かすこと一人ひとりが自らの「noble stubbornness」「高貴な粘り」によって「学ぶ」としてあります。すべての新入生の皆さんの「学び」を私たちは支えていきたいと思っています。

IC付き学生証へ変更
2,3面 KGニュース
中央講堂感謝の集い
応援マスコット募集!
4,5面 クラブ・サークル特集
6面 K.G. studio
「論説」日進月歩

関西学院大学新聞編集部
部員募集!!
新聞に興味がある人、自分の考えを伝えたい人、とにかく何かしたい人、誰でも歓迎します。
連絡先 総部長 豊田恭一 (人福・2)
kgpress2009@yahoo.co.jp

今年度より学生証がICカード化されることとなった。本年度4月1日時点で在籍予定の全学生(大学院生含む、新入生除く)は3月下旬から6月末までに交換手続きをしなければならぬ。交換場所は所属学部事務室・所属研究科事務室等である。そこで、学生証の変更点や具体的な内容について情報システム室の片岸さんに話を聞いた。



外見はさほど変わらないように見えても機能性は強化される

人は興味あることに自ら挑戦するという自発的な行為によって、能力の向上ができる。一方、他人からの命令や圧力による強制的な行為は、プラスにはならない。桜宮高の生徒体罰問題でも同じことが言える。昨年12月23日に大阪市立桜宮高校バスケットボール部主将の男子部員が、顧問の男性教員による体罰が原因で自殺した。顧問は練習に熱が入っていないなどの理由で、少なくとも10年前から生徒に対して強烈な平手打ちによる体罰を続けていたという。体罰が否定され始めたことはそんなに古い話ではない。昔は日常生活上で体罰が横行していたこともあった。「暴力振るわな言うこと聞かんやろ」今ですらそんな認識を持った大人がいるのも確かだ。ただ、体罰が見て見ぬふりをされていた原因の1つは暴力を振るうことにも加減があったことだ。もちろん、昔も体罰が原因で生徒が自殺する事件はあった。しかし、今回明らかにしたのは限度を超えた暴力的な行為である。40発も殴ったりするのは普通ではない。男子バスケットボール顧問のような、程度を超えた体罰を決して見過ごしてはならない。なぜ、生徒のやる気を上げるために限度を超える体罰をするのか。人がやる気を出す時は、受動的・強制的な気持ちではなく、自発的にやろうとする時である。教師としては、力による教育ではなく、生徒のやる気を伸ばしていく方針にすべきだろう。

国際化に伴う大学の事業

実践型、世界市民、育成プログラム

今年度から実践型「世界市民、育成プログラム」が開設された。実践型「世界市民、育成プログラム」とは、関学生が世界を舞台に活躍するために必要な知識と実践力を身につけるための教育プログラムである。そこで、このプログラムを担当している国際学部の關谷教授とグローバル人材育成推進事務局の永嶋さんに話を聞いた。

「実践型「世界市民、育成プログラム」は国際貢献活動や海外留学などの海外における実践科目を軸としている。そのための事前学習、帰学後の事後学習を行い、自らの能力を高めることを重視したプログラムだ」と關谷教授は話す。

プログラムの開設の経緯として、文部科学省の「グローバル人材育成推進事業」に本学のプログラムが採択されたためだ。永嶋さんは「韓国や近隣諸国の若者の留学率の向上とは対照的に、日本の若者の留学率は伸び悩んでいる。文部科学省はこうした事態の打開を目的として、大学の国際プログラム拡充による国際化促進のため、大型補助金を打ち出した」と話す。本事業（全学推進型）に採択された大学は全国に11校。中でも本

日本を牽引する関西学院

となる人材を育成することを目指す。この「グローバルリーダーコース」。世界で専門的知識・技能を發揮できる人材を育成している「グローバルエキスパートコース」。そして、国際社会で他者と協調して社会貢献できる人材を育成する

「グローバルエキスパートコース」。そして、国際社会で他者と協調して社会貢献できる人材を育成する



永嶋さんと關谷教授

プログラムは、主に3つのコースに分けられる。国際社会でリーダー

で役割にこたえよう。詳しく知りたいと思う人はホームページの方も覗いてみてはどうだろうか。

最後に關谷教授は「世界は欧米だけではない。日本の世界のイメージは欧米で占められている場合が多い。本当の世界は200近くある国々である。一部

節目の場

中央講堂感謝の集い

2月9日、西宮上ヶ原キャンパスの中央講堂で、中央講堂感謝の集いが行われた。

本学が125周年を迎えるに当たり、中央講堂を新しく建て替えることとなった。本式典では参加者が長年親しんだ中央講堂に感謝と別れを告げた。式典には、多くの本学卒業生や学院の生徒の姿が見受けられた。

関学の伝統に誇りと感謝を!

井上学長は中央講堂の歴史について話した。原田の森に学院を置いていた。新しい中央講堂は、現



中央講堂を説明する教授

在の中央講堂よりも広くなく、機能も充実する。コの字型の二階席が設けられ、中央芝生側の階段が無くな

緻細さを要する勝負

点訳競技会

2月16日に、本学点訳サークル主催の学生点訳競技会が新学生会館2階の会議室で行われた。

競技会は関西で活動する点訳サークルが集まっての国だけでなく、数多くの国・文化に思いを寄せ

競技を行うことで、互いに意識を高めることを目的としている。また、企画から運営まで全てを学生のみで行っている。今回は関西の4大学の点訳サークルが選手として出場し、各々が持っている実力を駆使しな



各々が持つ特性を駆使

悲しみの中に希望を灯す

東日本大震災2周年記念礼拝

3月11日、ランパス記念礼拝堂にて東日本大震災2周年記念礼拝が行われた。パイオルガンの前奏が始まり、礼拝堂は静寂に包まれた。演奏したのは杉崎陽子さん(文・3)だ。宗教センター宗教主事の樋口進さんが司式を務めた。



私たちに出来ることは何だろうか

「サークルでは未経験者でも活躍している。興味がある人はぜひ来てほしい」とコメントした。点訳サークルは新学生会館4階の合同部室Gブロックに部室を構えている。やってみたいと思った人は一度足を運んでみてはどうだろうか。

今回の協議会について、点訳サークルOBの中岡さんは「今回は実力のある1

「サークルでは未経験者でも活躍している。興味がある人はぜひ来てほしい」とコメントした。点訳サークルは新学生会館4階の合同部室Gブロックに部室を構えている。やってみたいと思った人は一度足を運んでみてはどうだろうか。

チャペル・オルガニストの招き

吉岡記念館宗教センター

本学宗教センターでは主に学部チャペルで演奏を担当するオルガニストを募集

している。募集期間があるのは4月1日から25日までである。応募資格は新

「制度である」と吉岡記念館事務室主事の竹林さんは話す。

式典が終わり、多くの参加者が中央講堂を名残惜しく思いながら後にした。中央講堂もしばらくの間は姿を見られなくなる。しかし、中央講堂は関西学院の歴史の中で、姿をより雄大にしたがら生き続けるのだ。

「関学には上ヶ原・三田・聖和と、どのキャンパスにも本物のパイオルガンが設置されている。なんと中央講堂もパイオルガンが設置されている。なんと中央講堂もパイオルガンが設置されている。なんと中央講堂もパイオルガンが設置されている。

「関学には上ヶ原・三田・聖和と、どのキャンパスにも本物のパイオルガンが設置されている。なんと中央講堂もパイオルガンが設置されている。なんと中央講堂もパイオルガンが設置されている。



日本に数少ないパイオルガン

「関学には上ヶ原・三田・聖和と、どのキャンパスにも本物のパイオルガンが設置されている。なんと中央講堂もパイオルガンが設置されている。なんと中央講堂もパイオルガンが設置されている。

「関学には上ヶ原・三田・聖和と、どのキャンパスにも本物のパイオルガンが設置されている。なんと中央講堂もパイオルガンが設置されている。なんと中央講堂もパイオルガンが設置されている。

「関学には上ヶ原・三田・聖和と、どのキャンパスにも本物のパイオルガンが設置されている。なんと中央講堂もパイオルガンが設置されている。なんと中央講堂もパイオルガンが設置されている。

躍動感溢れるオーケストラ

第120回記念定期演奏会

2月11日に兵庫県芸術文化センターにて関西学院交響楽団による第120回記念定期演奏会が行われた。会場はほぼ満席。観客は演奏に耳を傾けた。

1曲目は序曲「皇帝の花嫁」。ロシアの作曲家リムスキー＝コルサコフの代表的なオペラだ。指揮を務めたのは学生指揮の矢間明日香さん(法・4)。物悲しい冒頭のメロディーが演奏されると、不吉な金管楽器のファンファーレが鳴り響

く。丁寧な細かいフレーズを聴かせる演奏だった。

2曲目はチャイコフスキー作曲の祝典序曲「1812年」。ヴィオラとチェロのテーマから始まる木管楽器と弦楽器の掛け合いへと移り変わり、曲は次第に盛り上がり、曲はハイライトは終盤での金管楽器群のバンド演奏。指揮者が客席の方を向き合図を送ると、2階席から金管楽器が壮大なファンファーレを演奏し曲を締めくくっ

た。観客も2階席からの思わぬ演奏に驚いていた。

最後に演奏したのは同じくチャイコフスキー作曲の「交響曲第4番へ短調」。難易度が高く、学生オーケストラにとっては困難な曲だが、楽章ある大曲を表情豊かに見せた。2曲目、3曲目の指揮を務めたのが客演指揮の横島勝人氏だった。

終演後も躍動感溢れる指揮でオーケストラを導いた指揮の横島氏、素晴らしい

演奏で応えた演奏者への拍手は鳴りやまなかった。アンコールではチャイコフスキー作曲のバレエ音楽「眠れる森の美女」よりワルツを演奏。チャイコフスキーの三大バレエの一つに数えられる名曲だ。優雅な三拍子のリズムに観客は演奏会の余韻に浸っていた。

部長の美田嘉行さん(経・4)は「お客様に聞いてもらうために一杯練習してきた。演奏会が終わって寂しい気持ちもあるが、良い演奏だったよ」と声をかけてもらって嬉しいと話した。また、4回生はこの演奏会で引退となったが、笑顔で終われたという。

普段の練習は週3日だが、オフの日や授業の合間にもたくさん部の員が練習に励む。学生会館には毎日のように練習の音が響いている。そんな部員達の音楽への熱い思いが伝わってきた演奏会だった。



人々を虜にさせるオーケストラ

論説 日進月歩 『アベノミクスの挑戦』

安部首相は現在、日本経済を立て直すための大規模な政策を実施しており、メディアは政策群の事を「アベノミクス」と評している。デフレ状態からインフレ状態へ経済を変化させる史上初の政策として、政界からも注目を浴びている。だが、その巨大さゆえに指摘されている点もある。

政府側には、役所のデスクワークだけに留まらずに、各業界からアドバイザーをしてもらう、面談をして情報を収集したりするなどの積極的な研究活動が求められる。政策の骨子を作っていくために、政府は企業側と面談の場を持つことが必要。企業側は「政府側が対策案を出してきたのは良かったが、案は産業界

の仕組みを知っているような内容ではなかった」と啾然とした。穴だらけの政策では、20年も続くような不況は解決できない。今回の政策群の中で一番懸念されることは、セーフティネットから抜け落ちる最底限の生活に困るような者が出てくることだ。日本は現在、約20年間続くデフレ経済下に置かれている。デフレ経済に慣れきった国民の中には、急激な価格の変化についていけず、衣食住がままらなくなってしまう者もいる。生活保護、年金を受給し生活する者、低所得者などが当てる。政府が弱者をさらに弱い立場に追いやることなどあってはならない。金銭的支援を打ち切るといふのなら、代替となる積極的な雇用、住居の支援を行うことが迫られるだろう。

また、政策を行うために多額の国債を発行するが、果たして額面分をきちんと返せる見込みがあつての事なのか、発行分は必ず回収できるか、景気がよくなれば、発行分は必ず回収できるとしている。しかし、今までの国土改造計画や平成不況の時に多くの国債が発行されてきたが、まだ返済できていない。完全に返済できることを具体的に示したプランを明瞭な説明をつけて提示すべきだ。

成長戦略にも危険な点が多い。自民党は成長政策の環境として、貿易を活性化するためにTPPに参加することを挙げている。しかし、TPPに含まれるISD条項では意図しない点で海外企業が日本の公共団体を訴える可能性が生まれる上に、貿易の点からは国内企業が海外製の安い製品に価格で負

け、大打撃を受けることもある。また、経済を成長させる上で必要となつて来る電力供給も、原発事故があつてから値段が高騰し、生産活動を鈍らせている一面もある。将来を心配していると言いつつ、目の前にはある道に安易に飛びこむと、後で必ず痛い目に合う。生兵法を実行すると大きな後遺症を残すことになる。

政策が大綱は既に決定され、現在も協議が続いている。よほどの事が無い限り、中断させることはないだろう。だからこそ、慎重さをもって進めてほしい。現役世代が行うことの多くが何らかの形で将来世代に影響を及ぼす。政府には政策を実行するうえで国債残高も、経済も、格差も今ある状況よりも悪くしないと最低条件を必ず守ると約束してほしい。

地下鉄サリン事件を始め、カルト教団による数多くの社会的事件が世間を騒がせてきた。本学にも、毎年少なからず教団に入り学業を放棄して退学してしまう学生がいる。宗教センター宗教主事の樋口進さんに話を聞いた。

「カルト教団は、正体を隠して勧誘・活動する宗教団体である。彼らはしばしば社会的な問題を引き起こすこともある」と樋口さんは話す。教団側はマインドコントロールという手法を用いる。誘われた人は何が何だか分からないうちに深入りしてしまい、最終的に教祖の言いなりになつてしまふという。

誘う手段として大学内ではサークルを装う。対象者に集団生活をさせ、学業を放棄させる。教団の具体的な目的や教義を教え込み、教祖の言いなりにさせ、潤沢な資金を蓄積させるのだ。

応援マスコット募集!

六総部二自治会

学院大学公認の学生団体の集いである六総部二自治会によって募集される。今回の企画の発案者である中央協議会残存公認団体連絡会議で副議長を務める応援マスコット募集には3つの目的があるという。

1つは、体育会の試合や学院の行事に閣下生がなかなかあつまらない事と、効果を歌える人が少ないことである。マスコットがこれらをサポートする。2つ目は、閣下生が主体となつて応援歌である『新月旗の下に』は応援団総部と新聞総部が中心となり作成された。今回も学生たちが主体となつて応援歌『新月旗の下に』のように閣下生で長きに渡って愛されるものを作成したい。

3つ目は、何か大きな一つのものを作り上げるといふイベントを通して、閣下生ファミリーに一体感を持たせることである。閣下生には大学の他に、中学部や高等部などがある。また、大学

では5ヶ所もキャンパスがあり、規模としては非常に大きい。そのため、なかなか関西学院全体が合同で行うイベントはない。今回のイベントで閣下生ファミリーに一体感を出し全閣下生が一つになり、125周年を迎えることが目標である。

最後に、西澤さんは今回募集に関して、「あなた関西学院への思いをデザインにしてください!我々はそれを形にします。あなたのデザインで関西学院に新たな歴史を作りましょう!」と話した。



今回の企画を発案した西澤さん

不審なカルト教団に注意せよ!!

宗教センター宗教主事の樋口進氏

「カルト教団は、正体を隠して勧誘・活動する宗教団体である。彼らはしばしば社会的な問題を引き起こすこともある」と樋口さんは話す。教団側はマインドコントロールという手法を用いる。誘われた人は何が何だか分からないうちに深入りしてしまい、最終的に教祖の言いなりになつてしまふという。

誘う手段として大学内ではサークルを装う。対象者に集団生活をさせ、学業を放棄させる。教団の具体的な目的や教義を教え込み、教祖の言いなりにさせ、潤沢な資金を蓄積させるのだ。

ためにチャペルや授業で、学期始めにはホームページなどでも喚起されている。樋口さんは「正体が分からない誘いには警戒することや疑問を感じたら、吉岡記念館内の宗教センターや学生部に相談するべきだ。

り、正体のわからない学業を阻害するものにはのらな

先月号(806号)の6面の保健館の記事に誤りがあったため、訂正させていただきます。

(誤) 大学生協では、健康に関する品も取り揃えてある。上ヶ原キャンパスの生協では、花粉対策用のマスクが並べられていた。

(正) 保健館では、専門の医師の診療や、健康の相談なども行っている。上ヶ原キャンパスは正門右側すぐ、神戸三田キャンパスは第一厚生棟一階、聖和キャンパスは10号館1階にある。

関係者各位、及び読者の皆様へ深くお詫びを申し上げます。

125 Kwansei Gakuin 1839-2014

あなたのデザインを形にします!

ミッションステートメントとスクールモットーの2つを理解するために校歌を歌いに行こう!

応募期間は2013年2月9日から5月31日まで!

イネ押しで本! 宗教総部 体育会 新聞総部 文芸部 応援団総部 六総部二自治会 総務課 法学部学生自治会 神戸部学生会

新生活の第一歩

クラブ・サークル特集

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。新生活に期待が膨らんでいるのではないのでしょうか。人生の夏休みとも呼ばれ、自由な時間を持て余しがちな大学生。学校生活を充実させるために欠かせないのがクラブ・サークルです。「わからないことだらけで、どうやって決めればいいかわからない」というあなたも、この企画でリアルな部活生の声を聞いて下さい。

アメリカンフットボール部



フィールドを駆け抜ける

体育会アメリカンフットボール部、ファイターズは関西学院を代表するスポーツ部である。関西制覇、甲子園ボウル、そしてライスボウルを目標に一致団結して練習を続けている。アメリカンフットボールは数多くのポジションでなるスポーツだ。相手のそれぞれポジションごとに違う役割を持つことになる。相手の攻撃を押し返せるラインマンもいれば、キッカー、

ランニングバック(ボールを持ち走る)、ワイドレシーバー(ボールをキャッチする)、クォーターバック(ボールを投げる)のよう幅広いポジションがある。だからこそ、自分の個性を活かせる可能性は高い。ファイターズはチームの結束も強い。「部員一人一人がチームを勝たせる」という心意気をもって練習、試合に挑んでいる。また52回関西制覇、25回大学一の戦歴に決しておごることなく、常にどうすれば勝てるか部員一人一人が考えている。今年のスローガン「ALL for ONE」もこのことを物語っている。

マネージャーの中俣優奈さん(教・3)は新入生に向けて「ファイターズでは部員それぞれの能力を活かしながら全国を目指しています。活動していく中で辛い事や苦しい事もあるかもしれませんが、この事がチームの結束を強くしています。一緒にやってみて下さい。未経験でもきつと

年間スケジュール

- 1月 ライスボウル
- 2・3月 春合宿、筋力トレーニング
- 4月～6月 関関戦や各大学との交流試合
- 8月 夏合宿
- 9月～12月 関西リーグ戦
- 12月 甲子園ボウル

※一年を通してトレーニングも行う



熱い仲間と日本一を目指す



- 活動日** 火曜から日曜(練習)
- 活動場所** 部室: 新学生会館1階
練習場: 関西学院第3フィールド
- 連絡先** 090-3859-3339

総部放送局

総部放送局(KGB)は、お昼の放送のほか、関学関連のイベントでのMCパフォーマンスなどの活動でよく知られる部だ。

総部放送局は、アナウンス、ドラマ、報道技術、制作の5つの研究部で構成され、それぞれが日々技術を磨いている。例えばアナウンス研究部は、活動自体は単体で行うが番組の制作など他の研究部と連携したりもする。「いろいろな人と共に作っていくことが出来ると報道部の河合さん(社2)は話す。



本格的な機材

副部長の森場さん(社3)は「まとまってやる中で、どうやっていくか全体で考えている」と語った。個人の事、そして総部放送局全体の事を考えて行動する中で、人間としても成長していく。

「二年を通して様々な活動を行います」と総部放送局は、「きみの青

言う技術部長の金田さんとアナウンス部長の覚道さん(いずれも社3)。一年を通してそれぞれの研究部でスキルを磨き、その成果を春、秋の映像祭で関学生に披露したり、コンテスト映像を出品したりすることもあった。また、他の部からのCM制作依頼や新月祭でのMC依頼を受けたりする。コンテストで入賞したときや、放送を聞いてもらった時に非常にやりがいを感じるそうだ。



和気あいあいとした部員たち

- 活動日** 基本的に火曜日・木曜日の放課後(練習は各部ごとで異なる)
- 活動場所** 新学生会館2階
- 連絡先** cif86231@kwansei.ac.jp

- 年間スケジュール**
- 4月 花見イベント、公開生放送
- 5月 オリエンテーションキャンプ、新歓コンパ(4月～5月 春の放送祭)
- 8月 各部ごとで合宿
- 9月 全局員で合宿
- 11月 新月祭(番組発表)他イベント(MC)(10月～11月 秋の放送祭)
- 12月 代替わり選挙

合気道部



表情は真剣そのもの

合気道 それは数ある伝統的な武道の中でも女性や初心者の上達しやすい競技であるといえる。合気道は、関節技や相手の力を利用して

して相手を投げ飛ばす合理的なスポーツである。合気道部主将の松木直之さん(文・4)は「11月に全国大会があり、全員が大会に向け練習をしている」と話す。大会では主に演武と乱取りがある。演武は実際に技を演じ、技の美しさや力強さを競う競技。一方乱取りは1対1の勝負である。「我が合気道部は長年良い結果を残している。その伝統を損なわないように部員一同切磋琢磨

したい」と語る。また、「合宿前などは比較的厳しく、十本試合という10回連続の試合をしている。しんどいがそれを乗り越えようと精神的に大きな充実感がある」という。礼儀を重視しているスポーツでもあり、練習前には部員全員が部旗の前で礼をしていた。

- 年間スケジュール**
- 4月 春合宿
- 5月 新歓合宿
- 6月 関西大会
- 9月 夏合宿
- 11月 全日本大会
- 12月 新人戦



旗の下で全員集合

- 活動日** 月曜日から土曜日
- 活動場所** 新学生会館2階
- 連絡先** nufc.toon_army.sm@docomo.ne.jp

甲山落語研究会



にぎやかさは開学No.1!

ディベートクラブ

ディベートクラブの活動は週2回だ。火曜日の活動は大きめに三段階に分かれる。初めに各自が選んだ自由な話題を10分で発表する。次にディスカッションを行い肯定、否定の意見をまとめる。そして感想・評価などのフィードバックを締めくくると金曜日は火曜日に学んだ内容を元に肯定・否定に分かれてディベートをする。「最初は緊張で手が震えていたが、人

前で喋ることに慣れた。伝えることが楽しくなった」と語るのは原健太さん(文・2)。人前で発表する力やコミュニケーション能力が身に付くのは大きな魅力だ。

議題は部員がそれぞれ専攻している学問から時事問題、趣味まで幅広い。大会に参加して、学内で積み上げた成果を発揮し、実力を試すこともできる。大会は東京で行われることが多いという。参加は強制ではなく自由だ。

原さんは「新入生の皆さん、とにかく一度部室に来て下さい。上下関係もなく気負わずに活動できます。新入部員は男女問わず募集しているの、まずは見学に来て下さい」と話す。新歓の時期には即興ディベートで雰囲気伝える。「ドラえもんは未来に帰るべきか」などという砕けた議題を選ぶことも。

年間スケジュール

- 2月 西宮南高校ディベート大会(指導や審判として活躍)
- 5月 新歓
- 6月 新人ディベート
- 12月 全日本大学ディベート選手権

活動場所 新学生会館3階
活動日時 火・金曜日 6時から9時くらいまで
部員数 11名
連絡先 info@k-debate.com



大会のようす

活動場所 新学生会館3階和室1 / 旧学生会館4階部室
部員数 45名
連絡先 竹葉一貴(社・3) grico.grico.grico@docomo.ne.jp 090-7787-0783

落語とは日本の古典芸能で、一人の語り口で物語を展開していく。一つの演目は10分から40分で、一人でいくつもの役を演じる。時には8役を演じることもある。

部室の雰囲気はとても賑やかだ。よく喋る部員ばかりで、授業の空きコマにも和室に集まり話に盛り上がっている。和室で喋ることは、野球というキャッチボールのようなものだという。

喋りはもちろん、楽器のこともできる。三味線か太鼓のどちらかを選んで練習するのだ。

月に1回は必ず行事があり、楽しみながら充実した大学生活を送れるはずだ。笑いや楽しさを一番に求める新入生は、ぜひ見学に行ってみよう。



太鼓を練習中

年間スケジュール

- 1月 新年会・部室掃除
- 2月 策伝大賞(岐阜県で行われる全国大会)
- 3月 お囃子練習(合宿・若手関開戦(アクト西宮で1回生が出演))
- 4月 新歓(夙川で花見)
- 5月 新歓コンパ(1回生が先輩から名前を受け継ぐ)
- 6月 関開立お笑い三都物語(落語はもちろん、漫才・コントも)
- 7月 つる笑(オープンキャンパスでの1回生が引退)
- 8月 夏合宿
- 9月 関学出前寄席(2回生全員が寄席を披露)
- 10月 若手勉強会(こちらは1回生が披露)
- 11月 関学落語会(3回生が引退)



三味線も習得できる

航空部

活動場所 部室：新学生会館2階 合宿：木曾川滑空場・福井空港など
活動日 火・木曜日
部員数 18名
連絡先 松本萌子(文・3) stella_notte1114.echo-echo@ezweb.ne.jp

航空部は体育会で唯一空を飛べるスポーツだ。初心者でもグライダーという一人か二人乗りの飛行機を用い、空を飛ぶ気持ちよさを体験することができる。「航空部はほとんどの人が大学から始めているので、個人差は全然ありません。グライダーには60、70代の方も乗っており、年齢制限なく楽しめるスポーツです」と話す松本萌子さん(文・3)。メインの活動はグライダーの技術を上げ、免許を取るのだ。それ以外でもグライダーの整備に取り組んでいる。



主な練習場は岐阜県の本川滑空場や福井滑空場などで、普段は部室で実践のための会議が行われている。最後に松本さんは新入生へ「航空部は体育会でも珍しい体力・性別関係ないスポーツです。今までのスポーツと違い、誰でもすぐに上達できます。興味のある人はどんどん来てほしいです。興味がない方も一度部室に寄ってみてはどうですか」と意気込んで話した。

航空部は活動行事も豊富であり、夏の長期合宿・関開戦・関同立戦など数多くの活動が部員を奮い立たせてくれる。めつたに経験できない感動を君も共有しよう。

年間スケジュール

- 1・2月 合宿
- 3月 全日本学生グライダー競技選手権大会・関開戦
- 4月 新歓・体験搭乗
- 5月 合宿
- 6月 合宿
- 7月 定期試験の為休み
- 8・9月 長期合宿
- 10月 休み
- 11月 関開同立戦
- 12月 強化合宿(埼玉県)

新聞総部

最後に紹介するのが私たち新聞総部です！新聞という大変な仕事があるかもしれないけれど、決まってることはありませぬ。新聞総部は自由な活動の中で、他の部では出来ない経験を得られる部活です。創部から91年の歴史を持つ部活でもあります。

私たちが発行している関西学院大学新聞では、学内ニュースを中心に紙面を作っています。特に関開戦や新月祭は部員全員で分担して取材をして、特集を組んでいます。学内外で活躍する関学生やOBと話す貴重な機会もあります。取材からレイアウトまで全て部員で行っているため、自分の意見を発信する力が身に付きます。紙面が完成して読者に読んでもらえる喜びはとても大きいです。

毎週の会議で記事のネタを考え、取材に行きます。記事が出来たら字数や写真の配置を考えながらレイアウトを決めます。完成した紙面を見たときにはすごく感動します！

新入部員は学年問わず募集しているの、ぜひ部室に来て下さい。

活動場所 新学生会館3階
活動日 毎週金曜日
連絡先 kgpress2009@yahoo.co.jp

編集後記

気になった部活はありましたか？今回取材した以外にも関学にはたくさんのクラブ・サークルがあるので、自分の足で様子確かめて下さいね。雰囲気や居心地の良さも、部活を決めるポイントになるのではないのでしょうか。同回生、先輩・後輩との繋がりを作れるのも部活の醍醐味です。現役部員は、新入生の意思があれば誰でも歓迎してくれるはず。自分に合った部活を探して新生活を歩んでいきましょう。

K.G. studio

今月のK.G.Studioでは、部室便りとK.G.Workerをお送りします。K.G.Workerでは、学生課の椿本さん取材しました。部室便りでは、神学部学生会の朴さんにお話を聞きました。
また、諸都合から今回は文芸部読み切りはお休ませて、エッセイ「時計台から臨む」をお送りします。



学生課は学生部の部署の一つで、学生生活への支援やマナーなどの啓発を行い、学生が快適な生活ができる

#5. K.G. Worker 学生部学生課 椿本 伸明さん

学生課は学生部の部署の一つで、学生生活への支援やマナーなどの啓発を行い、学生が快適な生活ができる

椿本さんは現在、学生課で奨学金以外の学生生活支援関係の業務を扱っています。今回は学生課に勤務する椿本さん取材しました。

椿本さんは現在、学生課で奨学金以外の学生生活支援関係の業務を扱っています。今回は学生課に勤務する椿本さん取材しました。

椿本さんは現在、学生課で奨学金以外の学生生活支援関係の業務を扱っています。今回は学生課に勤務する椿本さん取材しました。

椿本さんは現在、学生課で奨学金以外の学生生活支援関係の業務を扱っています。今回は学生課に勤務する椿本さん取材しました。

椿本さんは現在、学生課で奨学金以外の学生生活支援関係の業務を扱っています。今回は学生課に勤務する椿本さん取材しました。

椿本さんは現在、学生課で奨学金以外の学生生活支援関係の業務を扱っています。今回は学生課に勤務する椿本さん取材しました。

椿本さんは現在、学生課で奨学金以外の学生生活支援関係の業務を扱っています。今回は学生課に勤務する椿本さん取材しました。

椿本さんは現在、学生課で奨学金以外の学生生活支援関係の業務を扱っています。今回は学生課に勤務する椿本さん取材しました。

椿本さんは現在、学生課で奨学金以外の学生生活支援関係の業務を扱っています。今回は学生課に勤務する椿本さん取材しました。

椿本さんは現在、学生課で奨学金以外の学生生活支援関係の業務を扱っています。今回は学生課に勤務する椿本さん取材しました。

椿本さんは現在、学生課で奨学金以外の学生生活支援関係の業務を扱っています。今回は学生課に勤務する椿本さん取材しました。

神学部学生会
人数：8人
創部年：2009年
活動日：不定期
活動場所：神学部棟
連絡先：
yunsoo-footprints@softbank.ne.jp

部室だより vol.6 神学部学生会

新：神学部学生会は主にどんな活動をしているんですか？
新：毎年、一泊研修会を行っています。神学部生は少ないと言っても、一回生から四回生までとなると会話する機会が少なくともあります。学部生の交流をもっと深めるために実施しています。

6回目は、神学部学生会の会長を務める朴潤珠さん(以下、朴)との対談です。他学部生には謎に包まれている神学部学生会の活動に迫ります。

新：一つの時期に行っているんですか？
新：秋です。神戸や六甲に行きます。
新：一泊の間に皆で喋って交流を深めるんですか？
朴：違う学年の学生が交わるようにプログラムを組んでいます。

新：他に活動はありますか？
朴：クリスマスが近い時期になるとページェントをやりませう。
新：ページェントって何ですか？
朴：イエス・キリストの降誕劇です。キリストが生まれた様子を分かりやすく劇にしています。

新：キャストは何人ですか？
朴：10人から15人です。やりたがらない人も多いので強引に誘います(笑) 4回生から「お前、やってみろよ！」と指名されて入ることも…。

新：一回の劇は何分くらいですか？
朴：15分から20分です。
新：ページェントの準備はいつからするんですか？
朴：9月頃からキャストを集めやシナリオ作りを始めます。

新：断れないですか？
朴：実は僕もそうなんです。何となく引き受けたらその時はセリフが60個くらいあつて。練習でもすごく怒られました。でも達成感は大いいです！

新：キャストは誰ですか？
朴：10人から15人です。やりたがらない人も多いので強引に誘います(笑) 4回生から「お前、やってみろよ！」と指名されて入ることも…。

新：今この関学にある学生会は法学部と神学部だけですよね。学生会を立ち上げて、存続しているのはすごいですか？
朴：存続が危うくなりかけたこともありましたが、何とか僕が会長を務めています。

新：断れないですか？
朴：実は僕もそうなんです。何となく引き受けたらその時はセリフが60個くらいあつて。練習でもすごく怒られました。でも達成感は大いいです！

新：小さい学部だからこそできることありますか？
朴：パーティーやバーベキューをやってみたりなどを出すイベントを行ってみたいですね。変な団体ではないのをわかって欲しいです(笑)

先日は大阪のとある場所です。スマホを道端で拾った。関学の職員として、もちろん近くの交番に届けるためドアを引張った。開かない。なるほどドアに「パトロール中」と書かれてある。おれは少ない戦力で大坂府警という大正義にモノ申すのだ。まあ、そんなことはさておき、スマートフォンを押し気長く待っていると何も特徴のなさそうな現代的ボリスAが現れた。ボリスAはズボンのチャックを上げつつ、トイレしていたと話す。



時計台から臨む
先日は大阪のとある場所です。スマホを道端で拾った。関学の職員として、もちろん近くの交番に届けるためドアを引張った。開かない。なるほどドアに「パトロール中」と書かれてある。おれは少ない戦力で大坂府警という大正義にモノ申すのだ。まあ、そんなことはさておき、スマートフォンを押し気長く待っていると何も特徴のなさそうな現代的ボリスAが現れた。ボリスAはズボンのチャックを上げつつ、トイレしていたと話す。

関学・神戸三田キャンパスから 一番近い AUTOMOBILE SCHOOL

授業のあいだに 楽々教習!

大学生協 サービスカウンターにて受け付け

お問い合わせは お気軽にお電話で

TEL三田(079) 562-2995 (代)

SANDA AUTOMOBILE SCHOOL SAS SINCE 1963

公安委員会指定技能試験免除 三田自動車学院

大型科・普通科 (MT・AT)・大型二輪科 普通二輪科 (小型限定)・審査科 (普通・自動二輪)